今年から５月開催に 相馬野馬追

24日 安全祈願祭・総大将出陣祝いの宴

一千有余年の歴史を誇る相馬野馬追の開幕を翌日に控えた５月24日、中村城跡内の相馬中村神社で出陣安全祈願祭と総大将出陣祝いの宴が行われました。

出陣安全祈願祭では、神事を執り行い、祭りの安全と武運を祈願しました。

続いて、総大将出陣祝いの宴が、同神社境内で開催。

今年は、相馬家33代当主・相馬和胤（かずたね）氏の孫の相馬言胤（としたねぎみ）君が総大将を務め、和胤氏の次男の長男である相馬賀胤（よりたねぎみ）君が初陣を飾りました。

26日 相馬野馬追「お上がり」行列

５月26日、雲雀ケ原祭場地へ出陣していた宇多郷勢の騎馬武者らが、相馬中村神社への帰路につき、市内を凱旋する「お上がり」行列が行われました。

５月25日に甲冑（かっちゅう）に身を包んで出陣した騎馬武者は、お上がり行列では陣笠・陣羽織に装いを替えて市内を行進。

沿道に詰めかけた観客から拍手やねぎらいの言葉で温かく出迎えられました。

市の夏のふるさと行事でもあった相馬野馬追は、令和６年度から５月最終週の金～月曜日に開催日が変更になりました。

相馬野馬追の開催時期は、時代に合わせて変遷してきました。古くは、相馬民謡「相馬流れ山」に唄われるように「五月中（なか）の申（さる）の日」に開催されていたともいわれています。これは、現在の暦でいう６月中旬～７月上旬ごろにあたります。明治時代には、改暦によって７月開催になりました。その後も、何度か日程の見直しは行われましたが、いずれも７月中でした。

ここでは、５月開催となり、新たな歴史を刻んだ相馬野馬追の様子を紹介します。

25日 騎馬武者らが出陣 相馬野馬追開幕

※５月25日の記事は、裏表紙の「表紙のおはなし」をご覧ください。

YouTube
相馬市
チャンネル

百歳おめでとう 阿部よね子さん

百歳を迎えた阿部よね子さん（黒木）への賀寿贈呈は5月15日、自宅で行われ、阿部さんに記念品などが手渡されました。

贈呈されたのは、県より賀寿状と記念品、市より賀寿状と記念品および祝い金。

当日は、同席した家族が阿部さんの長寿を祝いました。

阿部さんの長寿の秘訣は、好き嫌いをせずに何でも食べ、家族とたくさんお話しすることです。

再資源化目指す 使用済み紙おむつリサイクル技術推進連携協定

「相馬市と株式会社タケエイ、株式会社瑞光及び国立大学法人山形大学との使用済み紙おむつのリサイクル技術推進に関する連携協定締結式」は5月27日、市役所で開催され、立谷市長らが協定書に署名しました。

同協定は、市内で発生した使用済み紙おむつを、4者が協力し、固形燃料や新たな紙おむつとして再資源化する技術を確立し、環境への負荷軽減などを目指すことを目的としています。

復興を願う 能登半島地震の被災地へ

特定非営利活動法人ふれあいサポート館アトリエの門馬浩之副理事長ら3人は5月14日、市役所を訪れ、能登半島地震への支援金を阿部勝弘副市長に手渡しました。

本支援金は、市内5つの児童センター・児童クラブを利用する家庭に資源物収集の協力をお願いし、資源物収集で得たお金を充てたもの。

受け取った阿部副市長は「被災地域の復興に役立ててもらうよう、責任をもってお届けします」と述べました。

歴史を生かした観光振興を 「田町枡形案内板」除幕式

中村城下屋敷割略図「田町枡形案内板」除幕式は5月21日、中村地内で行われ関係者ら約30人が参加しました。

同案内板は、相馬市の慶応元年時点の屋敷割略図を公開し、まちづくりを活性化することなどを目的に、相馬郷土研究会の協力を得て、相馬商工会議所が設置。

式では、建立者代表の草野清貴相馬商工会議所会頭のあいさつの後、草野会頭ら7人による除幕が行われました。

自慢の歌声を披露 歌うま大会

野馬追の郷歌うま大会は5月25日、市民会館で開かれ、71人が出場しました。

同大会は、地域づくりの一環やにぎわい創出、交流人口の拡大を目的に開催され、今年で6回目。

当日は、前半と後半に分かれ歌の発表が行われました。

出場者は自身が選んだ曲で自慢の歌声を披露したほか、特別出演として歌手の福島はじめさんが出演するなど、会場は大いに盛り上がりました。

健康で豊かな心を育む
第43回市民歩け歩け大会

第43回市民歩け歩け大会は6月1日、尾浜ビーチバレーボール場をスタート地点に開催され、市内外から約200人が参加しました。

同大会は、市と市教育委員会の主催。

当日は、2つのコースに分かれて、松川浦大橋を経由し松川浦桟橋や大洲松川線を歩きました。

参加者らは、松川浦の景観を楽しみながらコースを巡りました。

今季初水揚げのホッキ貝
相馬双葉漁協

相馬双葉漁業協同組合によるホッキ貝漁は6月3日、磯部漁港などで行われました。

今季初の出漁で、磯部漁港からは3隻の船が出港し、1、178．5キログラムのホッキ貝を水揚げ。

放射性物質検査の結果、検出下限値未満であり、ホッキ貝は磯部水産加工施設で加工され、県内外に流通しました。

ホッキ貝漁は来年1月末まで行われる予定です。

エアコン設置要望
市立学校PTA連絡協議会

市立学校PTA連絡協議会による要望書の提出は5月20日、市役所で行われ、市立学校PTA連絡協議会の木幡洋平会長と米山真弘副会長が、立谷市長に各小・中学校の特別教室へのエアコン設置に関する要望書を手渡しました。

要望書は、子どもたちが安全に学校生活を送るため、各小・中学校の特別教室へのエアコン設置を要望するもの。

要望書を受け取った立谷市長は「保護者の総意であるものと重く受け止めさせていただく」と述べました。

交通ルールをわかりやすく
川原町児童センター交通教室

川原町児童センター交通教室は5月13日、同センターで開催され、中村第一小学校の児童約50人が参加しました。

同訓練は、川原町児童センターが主催し、少年消防団活動の一環として実施。

当日は、相馬警察署の署員による紙芝居の上演などが行われました。

児童らは、紙芝居を通じて、交通ルールを守ることの大切さを楽しみながら学びました。

孤立しない子育てのために
ベビーアイアイ広場開講式

ベビーアイアイ広場の開講式は5月14日、相馬愛育園で開催され、9組20人の親子らが参加しました。

同広場は、生後6カ月から1歳6カ月程度の親子が対象の親子教室で、子育ての仲間作りや親子の交流を促進することを目的に実施。

当日は、仕掛けおもちゃの製作や音楽に合わせた体操などを行いました。

親子らは全身を使って遊び、和やかな時間を過ごしました。